

- JIS T 8127 -

高視認性安全服のご案内

高視認性安全服とは

車両が通行する環境下で、高い視認性で歩行者や作業者の安全を確保する衣服です。蛍光生地と再帰性反射材で構成されています。

蛍光生地	主に日中の時間帯で、周辺とのコントラストによる視認性を発揮します。
再帰性反射材	薄暮や夜間に車両のヘッドライトに再帰反射して車両運転者に着用者の存在を認知させます。

2015年10月に高視認性安全服のJIS T 8127が発行されました。リスクレベルに応じた**JIS規格適合製品**を着用しましょう。














高視認性安全服のクラス

JIS T 8127は作業環境のリスク別に、3段階のクラスに分類されています。
適切なクラス的安全服を選びましょう。



150m先の被写体を撮影した映像を画像化

クラス	車両等の速度	作業環境	作業環境の例		
1 	30km 以下	施設内など	 駐車場	 倉庫・工場	 工事現場
2 	60km 以下	一般道路など	 一般道路	 施設出入口	 港湾
3 	60km 超え	高速道路など	 高速道路	 線路	 空港施設（屋外）

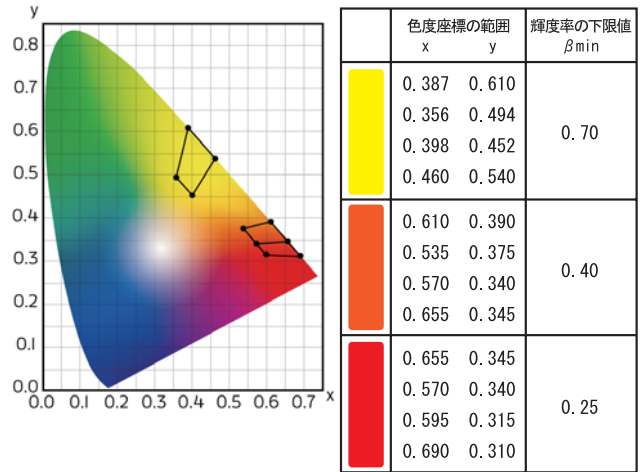
— 蛍光生地 —

「JIS T 8127 の指定色」



蛍光生地の色は既定の光源と試験方法で測色します。規定色度の範囲内で高い明度が求められます。また、生地強度などの物性についても一定の基準があります。

「蛍光生地の色度及び輝度に対する要求事項」



— 再帰性反射材 —

反射材には、反射係数の高い銀色の再帰性反射材と、複合機能材料と言われる蛍光色の再帰性反射材があります。再帰性反射材の反射性能は、耐久試験前の規定試験において右表の反射係数以上でなければなりません。

「再帰性反射材の最低反射係数」

単位：cd/(lx・m²)

観測角	入射角			
	5°	20°	30°	40°
0.2°	330(65)	290(50)	180(20)	65(5)
0.33°	250(25)	200(20)	170(5)	60(1.75)
1°	25(5)	15(4)	12(3)	10(1)
1.5°	10(1.5)	7(1)	5(1)	4(0.5)

※()内は複合機能材料の最低反射係数

— デザイン —

3段階のクラス別に蛍光生地と再帰性反射材の最少使用面積が定められています。(右表参照) 面積は製品表面に見える材料のみで算出します。

「目に見える材料の最少必要面積」

材料	クラス3	クラス2	クラス1
蛍光生地	0.80 m ²	0.50 m ²	0.14 m ²
再帰性反射材	0.20 m ²	0.13 m ²	0.10 m ²
複合機能材料	—	—	0.20 m ²

反射材使用のルール

1. 袖先・身頃・パンツの裾より 50 mm以上離す。
2. 幅及び並列テープ間隔を 50 mm以上にする。
3. 取り付け角度は ±20° にする。
4. 取り付けは蛍光生地と同様に一周させる。



— 着用者の注意点 —

蛍光生地	<ul style="list-style-type: none">• 太陽光線に弱く色に変色しやすいので、着用後は室内で保管しましょう。• 汚れにより視認性の低下を招きます。汚れたまま着用するのはお避け下さい。
再帰性反射材	<ul style="list-style-type: none">• 強い薬品・汗が付着した状態で放置すると、剥離や劣化が発生しやすくなり性能の低下を招きます。また、擦ることも同様に剥離や劣化の原因になります。

— 洗濯の注意点 —

漂白剤を使用すると、蛍光生地の変色と再帰性反射材の剥離や劣化により、性能低下を招きます。洗濯はネットに入れるか裏返しにしておこない、陰干ししましょう。（乾燥機のご使用はお避け下さい。）

— 経年劣化の注意点 —

使用環境や着用方法、保管方法によって劣化に差が出るので、適正に取り替えましょう。各職場において定期的に蛍光生地の変色と再帰性反射材の劣化を、目視で確認しましょう。目視の方法は日中の光の中での確認と、夜間にライトでの確認が必要です。汚れや劣化がある場合は、新しい高視認性安全服に交換しましょう。



— 発行元 —

この資料を許諾なく、転用することを固く禁止します。



公益社団法人 日本保安用品協会

〒113-0034

東京都文京区湯島 2-31-15 和光湯島ビル 5 階

TEL 03-5804-3125 FAX 03-5804-3126

E-MAIL hoan@jsaa.or.jp



一般社団法人 日本高視認性安全服研究所

〒111-0051

東京都台東区蔵前 1-8-3 オザワビル 5F A 号室

TEL 03-5809-2492 FAX 03-5809-2493

E-MAIL info@koshinin.com



公益財団法人 日本ユニフォームセンター

〒107-0051

東京都港区元赤坂 1-4-21 赤坂パレスビル

TEL 0120-240617 FAX 03-3402-2667

E-MAIL kenkyu@nuc.or.jp



一般社団法人 日本防護服協議会

〒111-0051

東京都台東区蔵前 4-13-7

TEL 03-3861-2388 FAX 03-3861-2404

http://www.bougofuku.net